

2020年度第7回2月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2021年2月
2. 開催の場所 各委員に資料を郵送して番組をお聞きいただき、
意見・感想を返信してもらう形式で開催
3. 委員の出席 委員総数9名
返信総数9名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	白幡冬彦
	委員	古口 悟
	委員	藤澤 勝
	委員	富田哲夫
	委員	小祝章二
	委員	大森玲子

4. 議 題

(1) Your Job? ミライの扉「人生を変える仕事図鑑」

本放送 毎週木曜 22:00～22:30

再放送 毎週月曜 20:00～20:30

試聴番組日 2021年2月4日(木)

(2) その他

5. 議事内容

(1) Your Job? ミライの扉「人生を変える仕事図鑑」

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴していただいた

議題説明：世の中にある数多くの仕事に焦点を当てる番組。その道のプロをスタジオに招いて、様々な職業を経験した吉田英樹氏が仕事について掘り下げる内容。試聴回の内容は日本クリケット協会グラウンドキーパーを招いた。

各委員からは、

- 「プロ」を招いて仕事のきっかけとなった物語を生々しく再現させたところが良かった。出演者は言葉がきれいで聴き入ってしまった。選曲も良い。このような明るい希望の持てる事例をより多く採り上げてほしい。次回の案内が丁寧で、次を待つ気分させてくれた。
- 楽しく聴くことができた。ゲストのリクエスト曲もアクセントになって良い。様々な仕事を紹介すると番組ということで、それぞれの仕事に対する魅力を教えてくれると期待している。
- 世の中には様々な仕事があり、担っている人がいることを改めて感じる番組。ゲストもその仕事の第一人者として自負があることが伝わってくる内容だった。MCがもう少し仕事の魅力を引き出せると良い。
- ゲストの仕事は特殊性があり話し上手でもあったため聴いていて面白かった。番組のターゲットがわかりづらく、リスナーに何を訴えたいのか見えなかった。パーソナリティーの吉田さんが単なる聞き役となっていた。番組内容がそれほど練られた感じがしないので、吉田さんだからこそ紹介できる仕事を紹介した方が良いのではないか。
- クリケットやグラウンドキーパーという仕事についてよく知ることができる内容だった。ゲストの仕事にかける情熱が、番組の目指している楽しい、珍しい、面白い夢見る仕事のすべてに当てはまる楽しい番組だった。ラジオのパーソナリティーは声質や高さも聴く側にとって大切な要素で、極めて難しいと感じた。
- 多くの業種がある中で、なぜその道に進んだのか、改めて紹介する場がないと認知されないという意味では、良い番組だが、放送時間が適当か？と感じた。日中の方が内容的にあっているのではないか。リスナー個々の境遇や思いの差もあるので、常にちょうど良い放送は難しいと思うが、時間帯にあった番組編成でもよいのではないか。

○試聴した番組は、地域話題を広く知ってもらい、盛り上げに貢献するという意味で分かりやすかった。様々な仕事をしている人がいると聞いてもらえばいい番組ととらえたが、今後、どのような観点で仕事を取り上げていくのか。番組MCが提供社の代表者であることは番組自体が広告の一環との疑問が生じる。番組MCを提供企業の代表者に努めてもらうことは避けた方が良いのでは。

○単なる仕事の紹介にとどまらず、まちづくりやクリケットがどのような競技であるかなど仕事に絡めて多くの興味ある情報を、吉田さんとアシスタントが引き出していた。ゲストの話も非常に前向きでロマンチックであり、とても魅力的だった。インタビューだけでなくリクエスト曲も挟むなど番組構成も適切で楽しい番組だった。

○地味な仕事、危険な仕事を紹介する番組は、いままでになかった企画で県民に知られていない仕事を知る良い番組。ただリスナーの対象は誰なのかわかりづらい。クリケットはあまり知られていないので、競技の説明がもっと必要ではないか。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(2021年3月7日(日) 午前8時5分放送)

② 当社のホームページに掲載(2021年3月12日～)

③ 当社事務局に議事録備え置き(2021年3月12日～)

以上